

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果分析と今後の対策

本年4月17・18日に、「全国学力・学習状況調査」が全国一斉に実施されました。本校の6年生は、全国や県と比べ、算数、理科については上回る結果でした。それぞれの教科や質問調査の結果分析と今後の対策を以下のようにまとめましたのでお知らせします。

国語科**【良好】**

- 文章における主語と述語の関係、図における語句と語句との関係の表し方を、よく理解しています。

【課題】

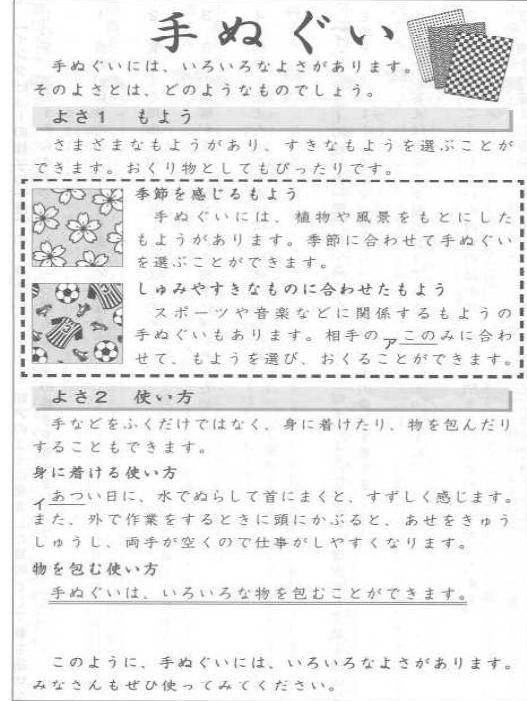
- 文章を読み取り、目的に応じて、書き方を工夫し条件に合わせて文章を書くことが苦手です。

問題 条件に合わせて文を書きましょう。**【条件】**

- ――部を書き直し、くわしくする。
- 調べたことから言葉や文を取り上げて書く。
- 60字以上100字以内で書く。

【対策】

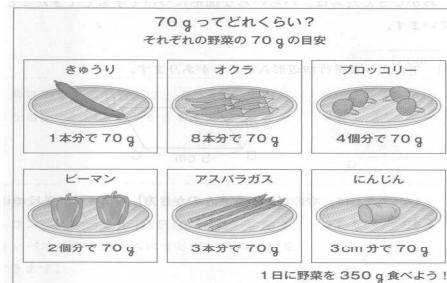
- ・いくつかの条件に合わせて文章を書く場面を増やしていきます。
- ・国語に限らず様々な場面で、書いた文を自分自身で条件をすべて満たしているかチェックする習慣や、子ども同士で読み合う場を設定する等していきます。
- ・書く前に集めた情報を視覚的に整理することや、文章の並び替えや付け加え等を簡単に行い、文章への抵抗が少なくなるよう、タブレット端末の効果的な使用を引き続き進めていきます。

【ちらし】**算数科****【良好】**

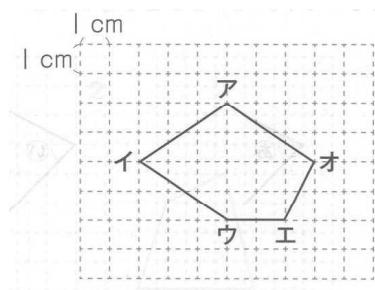
- 示された資料から必要な情報を選び、式に表し計算することができます。

問題

資料をもとにすると、ピーマン1個とブロッコリー4個を食べたとき、何gの野菜を食べたと考えることができますか。求める式と答えを書きましょう。

**【課題】**

- 基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を言葉や数を使って記述することが苦手です。

**問題**

五角形アイウエオを2つの図形に分けて面積を求めるとき、2つに分ける直線を選び、面積の求め方を式や言葉を使って書きましょう。

【対策】

- ・考えた根拠を数学的な言葉や数を用いて、明確に文章で書く場面を増やしていきます。
- ・多角形の面積を、いくつかの図形に分けて求める活動を通して、各図形の面積の求め方の理解を深めるとともに、他の問題においても「分けて求めて、後で合わせる」という思考を利用できるようにしていきます。

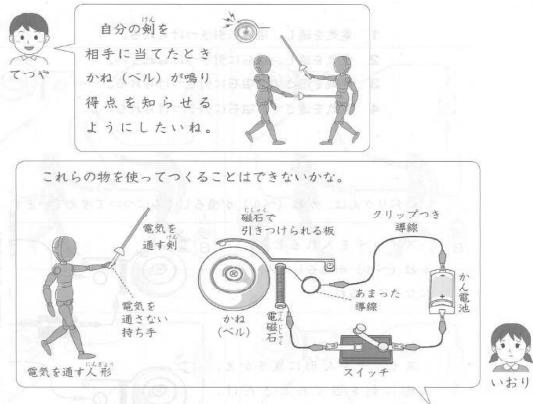
理科

【良好】

- 実験の手順や器具の使い方を正しく理解し、ていねいに操作することができます。
- 課題を解決するために、どのような条件で実験すればよいかを自分で考える力が育っています。
- 理科で学んだ知識を、身の回りの出来事と結びつけて理解しています。

【課題】

- 金属をはじめとした、さまざまな物質の共通点や相違点を整理して理解することが苦手です。



問題

アルミニウム、鉄銅の性質について、1~4からそれぞれ選びましょう。

- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。じしゃく
- 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

対策

- ・実際の物質を扱い、電流を流す・加熱する・磁石に近づける等の体験的な活動を取り入れることで、理解を深めていきます。
- ・身近な生活での例と物質の性質を結びつけることで、実感を伴った学びにしていきます。
- ・物質の性質一覧表を作成し、視覚的に比較することで理解の定着を図ります。

質問紙

【良好】

- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

本校：そう思う…100%
(全国…73% 県…74%)

全員が「そう思う」と答えています。本校では、東浦みかんを核としたふるさと教育や伝統芸能体験、様々なボランティア等において、保護者や地域の方々と、児童が触れ合う場が多数あります。そのような関わりが将来、自分は人の役に立ちたいと考えるきっかけにもなっていると考えられます。

【良好】

- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

本校：そう思う…100%
(全国…32% 県…34%)

- ・授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

本校：そう思う…100%
(全国…49% 県…53%)

本校では簡単な言葉のやりとりを通して関わり方を学ぶソーシャルスキルトレーニングを「リアクションタイム」と称して行っています。相手の意見を聞いたり質問をし合ったりすることを通して、お互いの良さを認め合う心が育っています。また授業でも、問題を解決するために友だちと意見を交わしたり、協力したりする場面を作っています。これからも周囲と関わり合う機会を設定することで、相互に力を高め合っていきます。

【課題】

- ・学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間読書をしますか。

本校：している…0%
(全国…6% 県…3%)

- ・新聞を読んでいますか。

本校：読んでいる…0%
(全国…4% 県…4%)

昨年と同様、県や全国と同様に「読書をしない、新聞を読まない」と答えた児童の割合がとても高いです。

学校では、読書ボランティアの方々からの読み聞かせ等により、読書への関心が高まるような場を設定していきます。また、子ども新聞を子どもの目に付くところに設置し、新聞を読みやすい環境づくりにも努めています。今後は授業で新聞作りに取り組んだり、新聞記事に触れる機会をつくったりして、子どもたちの活字離れや新聞への興味の低下を改善していきます。

以上のように、質問紙調査では、少人数指導の良さが表れた結果となりました。本校の良さを生かしつつ、さらに児童が力を発揮できるよう、学校全体で取り組んでいきます。

今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。